

市民の暮らし守れ 消費税増税反対など 連日訴え



議員団は、日本共産党上越地区農民部長はしもと正幸さんとともに、「市民生活守るためにも消費税増税許すな」と、連日のように街頭宣伝を繰り返しています。上の写真は橋爪団長とともに吉川区内で訴える「はしもと正幸」農民部長です。

頸城区で元気に 高齢者スポーツ大会

高齢者スポーツ大会は、頸城区内を5地区に分けて、高齢者の皆さんがスポーツを楽しもうと

いう大会で、7月26日に行われました。

日本共産党議員団からは、上野議員が招かれ、高齢者をさらに大切にするには後期高齢者医療制度はすぐにやめさせよう」と決意を述べました。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.193 2009年8月2日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)

「金融・雇用対策」以下4重点テーマの追加経済対策など中心に

7月臨時議会

総額41億円2千万円の補正予算を可決

上越市議会は、7月22・23の両日に行われた臨時議会で、総額41億2千万円の補正予算を可決しました。

国の追加経済対策としての補正予算は、選挙目当てのばらまきで、その先には消費税の増税が控えています。一方、市の段階では、国の交付金を活用することで、経済危機に立ち向かう市民を支援することが出来る側面がありますので、党議員団は補正予算に賛成しました。

総合計画との関連性はどうか

橋爪議員が総括質疑

市長提案後、橋爪議員団長が総括質疑に立ち、★国の追加経済対策に市はどんな働きかけをしてきたか、★4つの重点テーマはどんな視点でまとめたのか、★事業の選定では総合計画との関連性をどう検討したのか、などについてたずねました。

市長は、「交付金の対象事業の拡大や明確化など、使い勝手の良い制度となるよう強く要望した」「4つの重点テーマは、緊急的な対策としての視点と将来に向けた投資という視点から掲げ、事業を構築した」「緊急対策と将来投資のどちらも総合計画の基本政策と合致するものである。選定対象事業も、昨年、総合計画・財政フレーム検討プロジェクトチームで総合調整を行った事務事業が中心で、

全事業が総合計画に基づいている」などと答えました。

橋爪議員はさらに踏み込んで、総合計画においても具体的な年次計画を明らかにする実施計画を提示すべきだと追及しました。

より充実した産振センターを

上野議員の委員会審議

文教経済常任委員会では、市内企業の経営基盤強化や技術の高度化をめざす産業振興センターの設置案が審議されました。

上野議員は、「農商工連携・産官学連携を通して有機的総合的機能を発揮できるセンターにすべきだ。中小企業では独自設置の困難なハイテク機器や研究棟の整備支援、工場や社屋の定額貸付や販売先支援など、文字通り地域内企業を元気づけ、地域経済の活性化・市民生活に役立つものにすべきだ」と指摘しました。

今後の今後の地域経済を活性化させる起爆剤のひとつとなる質問であり、注目されました。

福祉施設の耐震化急げ

平良木議員の委員会審議

厚生常任委員会では、国の交



付金を活用して軽費老人ホーム千寿園の耐震診断を行う件などが審議されました。

平良木議員は、他の福祉関係施設の耐震化の進捗状況について質問。高齢者福祉施設では、多くの施設の耐震化が未実施であることが明らかになると同時に、できるだけ早く取り組みたいという所管課の姿勢を引き出しました。

高田駅跨線橋改善

より利便性高めよ

樋口議員の委員会審議

建設企業常任委員会では、高田駅の跨線橋整備などについて審議されました。これは、高田駅西口整備事業の一つとして、エレベーター付きの跨線橋に付け替え、バリアフリー化するものです。

樋口議員は、「それも重要だが、市民の利便性を高める西口からの自由通路実現の促進を」と迫りました。

これに対し、在来線の経営移管が見込まれることから、JRが難色を示していることが示唆されました。

並行在来線の存続と発展をめざしましょう